







水難備え背浮き習得

熱海で着衣水泳教室

熱海市のマリンスパあたみで23日、初の着衣水泳教室（STI熱海海浜公園グループ主催）が開かれた。市内の小学生を中心に12人が参加し、おおむけの状態

で水面に浮かぶ「背浮き」の方法を習得した。夏場に増える海や川での水難事故に備え、子どもに身を守るすべを体得し

てもらい狙い。参加者はTシャツとズボンを着用したまま入水し、大の字になって浮かぶ練習を繰り返した。保護者が投げ入れた空のペットボトルやクーラーボックスにつかまり、浮力として活用することも学んだ。指導した水泳教室の担当者は「服はぬれると泳ぎにくくなる。海や川に

着衣水泳を習得する子ども＝熱海市のマリンスパあたみ

落ちた場合は無理に泳がず、まずは浮いて助けを待つことが大切」と呼びかけた。

(2024年6月24日付東部版)

【上の記事を読んで次の問いに答えましょう】

①衣服を着けたまま泳ぐことを何と言いますか。

漢字4字で書きましょう。

Four empty boxes for writing the answer.

②写真の子どもたちが練習している「背浮き」とは、どうすることを言いますか。

Blank space for writing the answer.

③どんなときに「背浮き」が必要になりますか。

Blank space for writing the answer.

④夏場に増える水の事故を防ぐために、あなたならどんなことに気を付けますか。30字以

内で書きましよう(句読点を含みます)。

Table with 12 columns and 2 rows for writing answers. Row 1 has numbers 5, 10, 15. Row 2 has numbers 20, 25, 30.

【学習のポイント】

新聞で紹介されているさまざまな体験活動を自分の生活や学習に生かせるように読み取りましょう。

※対象は小学校～中学校/生活、体育、保健体育、総合

＜解答例＞

①着衣水泳

②(例)おおむけの状態

③(例)海や川に落ちた場合、(無理に泳がず、)

浮いて助けを待つとき。

④(例)大雨や台風

川や海などで遊ぶときには大人と一緒にいってもらうこと。(26字)

遊泳禁止の海や立入禁止の池などに入らないようにすること。(28字) など

＜解説＞

①見出しや写真の説明、本文2行目に出ているよ。

②写真から予想して、本文4～6行目で確かめよう。

③本文15～18行目から読み取ろう。服はぬれ

ると泳ぎにくくなるので、あてないで浮いて待つことが大切だね。

④夏場に海や川での水難事故が増えることを踏まえて、自分事として考えよう。水難事故に遭うことがないように気をつけようね。

作問者は静岡新聞NIEコーディネーター・矢沢和宏



もっとやってみよう!と思ったら、「静岡新聞NIEワークシート」を検索してね。